

# 有機 EL 討論会予稿用テンプレート (題目)

全角○ → ○ 九大 太郎<sup>1</sup>, 無し 九大 次郎<sup>2</sup> 九大 花子<sup>2</sup> (氏名)

<sup>1</sup>九州大学総合理工学研究院, <sup>2</sup>有機 EL (株) 開発部 (所属)

E-mail:taro@kyushu.ac.jp (メールアドレス)

**アブストラクト** 200 字程度で発表内容を簡潔に記述して下さい。予稿原稿は **A4 判縦 2 頁** で作成して下さい。

(プログラム公開時にアブストラクトは事前に web 公開されます。) 予稿は提出されたままオフセット印刷されますので、十分な校正を行って下さい。

## < 緒言 >

1 ページ目上部には、タイトル、講演者氏名 (登壇者には○をつける)、所属、メールアドレス、アブストラクト 200 字程度を、それぞれ記述してください[1]。

## < 実験 >

本文の書き方、

著者名: 連名の場合、著者間をスペースで区切る  
こと。

文字の大きさ: 本文は 10 ポイント活字を標準  
とし、字間および行間は適宜調整すること。

フォント: 日本語フォントは「明朝またはゴシ  
ック」、英字フォントは「Times, Times New  
Roman, Symbol, Arial, Century」のいずれかを使用  
して下さい。

図と表: 原稿用紙の任意の箇所に直接貼り付け  
る。

写真: カラーは不可。白黒印刷のためカラー写  
真も白黒とさせていただきます。(WEB 予稿集  
の場合、カラーのまま掲載します。)  
(注意) 貼り付けたものが原稿用紙の枠をはみ  
出ないこと。

引用文献: 本テンプレートを参考に引用文献を  
記載し、本文中は[1]のように[]カッコを用い引  
用すること。

## < 結果・考察 >

PDF ファイルは Adobe Acrobat Reader 4.0 以上  
で表示・印刷可能な PDF ファイル (1.0MB 以下、  
セキュリティ設定「なし」) で作成して下さい。

文献の形式をお守り下さい。(「*et al.*」の  
ピリオドの位置も正確にお願いします。)

## 文 献

- [1] (雑誌の場合) 著者名, 雑誌名, 巻(太字), 開始  
ページ, (年).
- [2] T. Tsutsui, T. Kyudai, and J. Kyudai, Jpn. J. Appl.  
Phys., **44**, 2098 (2005).
- [3] E. L. Yuuki *et al.*, Proc. Tournikai, **18**, 39 (2014).